

小学校五・六年生「漢字」ワークシート①

名前

漢字を読んだり書いたりすることができるといいと思います。

一 同じ読み方をする漢字について考えましょう。

★次の上の言葉と下の言葉を——でつなげましょう。

① なおる 直る・かぜ 治る・おもちゃ

② あつい 暑い・本 熱い・お茶 厚い・部屋

③ さめる 冷める・料理 覚める・目

④ つとめる 努める・会社 勤める・主役 務める・解決

⑤ おさめる 収める・税金 修める・勝利 納める・国 治める・学業

★次の文の [] にはあてはまる正しい漢字を左の [] の中から選んで書き入れましょう。

① そなえる・おはかに花を []

・部屋にテレビを []

備える 供える

② はやい かけ足が []

速い 早い []

予定時刻より []

③ うつす 鏡に自分の姿を []

場所を []

文字を書き []

移す 写す 映す

二 特別な読み方をする漢字を読みましょう。

① 昨日、今日、明日と連続して練習をする。 ()

② 眼鏡をかけて、果物をむく。 ()

と ()

③ 一日と二十日に集まる約束をした。 ()

④ 真っ赤なりんごの絵をかく。 ()

⑤ 真っ青な空を見上げた。 ()

()

⑥ きれいな景色に見とれた。 ()

⑦ 川原でバーベキューをした。 ()



★①直る—おもちゃ

治る—かぜ

☆ふつうは「直る」ですが、病気の場合は

「治る」を使います。

②暑い—部屋

熱い—お茶

厚い—本

☆反対の言葉と対にして覚えるとよいです。

暑い—寒い、熱い—冷たい、厚い—薄(う

す)い

③冷める—料理

覚める—目

☆温度に関係する場合は「冷める」を使い

ます。

④努める—解決

勤める—会社

務める—主役

⑤収める—勝利

修める—学業

納める—税金

治める—国

★①おはかに花を **供**える。

部屋にテレビを **備**える。

☆神仏に関係する場合に「供える」を使います。

②かけ足が **速**い。

予定時刻より **早**い。

☆スピードに関係する場合に「速い」を使い、

時間に関係する場合に「早い」を使います。

「じっくり じっくり くり返し」の十二ページを参考にしてください。

③かがみに自分の姿を **映**す。

場所を **移**す。

文字を書き **写**す。

☆ 同じ読み方をする漢字や熟語はたくさんあります。文章を書いているとき、分からなくなったら、辞書を引いて確認しましょう。



二①きのう、きょう、あした(あす)

②めがね、くだもの

③ついたち、はつか

④まっか

⑤まっさお

⑥けしき

⑦かわら

☆ 特別な読み方をする漢字には、上手(じょうず)と下手(へた)、迷子(まいご)などもあります。新しい読み方に出合ったときに、しっかり覚えましょう。



漢字を読んだり書いたりすることができるようになってください。

★かなづかいに気をつけながら、問題に答えましょう。
 (国語) 五年上「かなづかいで気をつけること」四十二、四十三ページを参考にしまし
 よう。)

一 次の文章のかなづかいは正しいでしょうか。合っているものは()に○を、間
 違っていているものは()に正しいかなづかいを書きましょう。

- ① () そうゆう話は、よくあることだ。
- ② () いうまでもない話だ。
- ③ () 元気に「いってきます。」とゆった。

二 次の文章を正しい文に直し、全文を□の中に書きましょう。

- ① 父わ、学校え行った。
 - ② 朝ごはんお、きちんと食べた。
 - ③ 私は、公園でおにぎりお食べた。
- | | | |
|--|--|--|
| | | |
|--|--|--|

三 次の言葉の正しい読み方はどちらでしょう。正しい方に○をつけましょう。

- ① 築く () きづく ・ きずく
- ② 貧しい () まずしい ・ まづしい
- ③ 鼻血 () はなじ ・ はなぢ
- ④ お姉さん () おねいさん ・ おねえさん
- ⑤ お父さん () おとうさん ・ おとおさん
- ⑤ 政治 () せえじ ・ せいじ
- ⑥ 定価 () ていか ・ てえか
- ⑦ 水 () こうり ・ こおり
- ⑧ 通る () とうる ・ とおる
- ⑨ 地図 () ちず ・ ちづ
- ⑩ 地面 () じめん ・ ぢめん
- ⑪ 身近 () みじか ・ みぢか
- ⑫ 心強い () こころずよい ・ こころづよい

小5・6年生「漢字」ワークシートの答えと解説

漢字を読んだり書いたりする「と」ができるようにしましょう。

★かなづかいに気をつけながら、問題に答えましょう。
 (国語) 五年上「かなづかいで気をつけること」四十二、四十三ページを参考にしまし
 よう。)

一 次の文章のかなづかいは正しいでしょうか。合っているもの
 違っているものは()に正しいかなづかいを書きましょう

① (そういう)
 そうゆう話は、よくあることだ。
 「言う」は「いう」と書きます。
 「ゆう」とは書きません。

② ()
 いうまでもない話だ。
 「に」に置きかえられるときは
 「は」が使えます。
 (例) 父は…
 父が…

③ 元気に「いってきます。」とゆった。
 「だれを」「なにを」のときは、
 「を」を使います。
 (例) おにぎり(物)を…
 姉をしようかいする。

二 次の文章を正しい文に直し、全文を□の中に書きましょう。

① 父わ、学校へ行^へった。

② 朝ごはんお、きちんと食^をべた。

③ 私は、公園でおにぎりお食^をべた。

三 次の言葉の正しい読み方はどちらでしょう。正しい方に○をつけましょう。

① 築く (きづく) ・ きづく ()

② 貧しい (まずしい) ・ まづしい ()

③ 鼻血 (はなぢ) ・ はなぢ ()

④ お姉さん (おねえさん) ・ おねえさん ()

⑤ お父さん (おとうさん) ・ おとおさん ()

⑥ 政治 (せいじ) ・ てえか ()

⑦ 水 (みづ) ・ こおり ()

「こおり」とおる」は間違いやすいの
 で注意しましょう。

⑧ 通る (とほる) ・ とおる ()

⑨ 地図 (ちず) ・ ちづ ()

⑩ 地面 (じめん) ・ ぢめん ()

⑪ 身近 (みぢか) ・ みぢか ()

⑫ 心強い (こころづよい) ・ こころづよい ()

・「気」+「つく」だから「気づく」
 ・「鼻」+「血(ち)」だから「はなぢ」

※「じっくり しっかりと くり返し」の十二ページを参考にしてください。

漢字を読んだり書いたりすることができるようになってほしい。

一 二つ以上の言葉が組み合わさって一つの言葉になったものを、「複合語」と言います。例を参考に、複合語を二つの言葉に分けましょう。

例 話し終わる↓(話す + 終わる)

① 飛び立つ↓() + ()

② 泣き出す↓() + ()

③ 持ちあげる↓() + ()

④ 走り回る↓() + ()

二 例を参考に、次の言葉が組み合わさった複合語を書きましょう。

例 話す + 終わる↓(話し終わる)

① 走る + 終わる↓() ()

② 休む + 時間↓() ()

③ 草 + おしる↓() ()

④ 細い + 長い↓() ()

⑤ 消す + ゴム↓() ()

⑥ 思う + 出す↓() ()

⑦ 落ちる + 葉↓() ()

⑧ 食べる + 過ぎる↓() ()

⑨ 見る + 送る↓() ()

⑩ 遠い + 回る↓() ()

漢字を読んだり書いたりすることができるようになりました。

一 二つ以上の言葉が組み合わさって一つの言葉になったものを、「複合語」と言います。例を参考に、複合語を二つの言葉に分けましょう。

例 話し終わる↓(話す + 終わる)

① 飛び立つ↓(飛ぶ + 立つ)

② 泣き出す↓(泣く + 出す)

③ 持ちあげる↓(持つ + あげる)

④ 走り回る↓(走る + 回る)

言い切る形に直して
考えましょう。

二 例を参考に、次の言葉が組み合わさった複合語を書きましょう。

① 走る + 終わる ↓ (走り終わる)

② 休む + 時間 ↓ (休み時間)

③ 草 + おむし ↓ (草むしり)

④ 細い + 長い ↓ (細長い)

⑤ 消す + ゴム ↓ (消しゴム)

⑥ 思う + 出す ↓ (思い出す)

⑦ 落ちる + 葉 ↓ (落ち葉)

⑧ 食べる + 過ぎる ↓ (食べ過ぎる)

⑨ 見る + 送る ↓ (見送る)

⑩ 遠い + 回る ↓ (遠回り)

複合語には、

・動きを表す言葉(動詞)

例：走り終わる

思い出す

食べ過ぎる

見送る

・様子を表す言葉(形容詞)

例：細長い

・物の名前を表す言葉(名詞)

例：休み時間

草むしり

消しゴム

落ち葉

遠回り

などがあります。

「じっくり しっかり くり返し」の十二ページを参考にしてください。

漢字を読んだり書いたりすることができるようにしましょう。

一 同じ漢字で違う読み方をする漢字について考えましょう。

——の漢字が、文章に合った読み方になるよう、線をつなぎましょう。

①	歌舞伎役者が上手 <small>かぶぎやくしゃ</small> から登場する。 あの人は歌が上手だ。 絵を描くことは、私のほうが一枚上手だ。	・うわて ・かみて ・じょうず
②	色紙 <small>しきし</small> を折って、千羽づるを作る。 有名人のサインを、色紙 <small>いろがみ</small> にもらう。	・しきし ・いろがみ
③	風車 <small>ふうしゃ</small> に息をふきかけて回し、遊ぶ。 風の力を利用して風車 <small>かざぐるま</small> を回し、発電する。	・ふうしゃ ・かざぐるま

二 特別な読み方をする漢字について考えましょう。

次の漢字の読み方を（ ）の中に書きましょう。

- | | | |
|---|---|-----|
| ⑩ | 真 <small>ま</small> っ赤 <small>あか</small> | () |
| ⑨ | 手 <small>て</small> 伝 <small>でん</small> う | () |
| ⑧ | 今 <small>いま</small> 朝 <small>あさ</small> | () |
| ⑦ | 果 <small>くだ</small> 物 <small>もの</small> | () |
| ⑥ | 明 <small>あ</small> 日 <small>ひ</small> | () |
| ⑤ | 大 <small>おほ</small> 人 <small>ひと</small> | () |
| ④ | 八 <small>やち</small> 百 <small>ひゃく</small> 屋 <small>や</small> | () |
| ③ | 博 <small>はく</small> 士 <small>し</small> | () |
| ② | 一 <small>いち</small> 日 <small>にち</small> | () |
| ① | 七 <small>しち</small> 夕 <small>せき</small> | () |
| ⑪ | 河 <small>か</small> 原 <small>はら</small> | () |
| ⑫ | 二 <small>に</small> 十 <small>じゅう</small> 日 <small>にち</small> | () |
| ⑬ | 姉 <small>あね</small> さん | () |
| ⑭ | 今 <small>いま</small> 日 <small>にち</small> | () |
| ⑮ | 真 <small>ま</small> っ青 <small>あお</small> | () |
| ⑯ | 昨 <small>きのう</small> 日 <small>にち</small> | () |
| ⑰ | 一 <small>ひと</small> 人 <small>にん</small> | () |
| ⑱ | 景 <small>けい</small> 色 <small>しき</small> | () |
| ⑲ | 清 <small>せい</small> 水 <small>すい</small> | () |
| ⑳ | 部 <small>ぶ</small> 屋 <small>や</small> | () |

漢字を読んだり書いたりすることができるようになります。

一 同じ漢字で違う読み方をする漢字について考えましょう。

——の漢字が、文章に合った読み方になるよう、線をつなぎましょう。

① 歌舞伎役者が上手から登場する。
あの人は歌が上手だ。
絵を描くことは、私のほうが一枚上手だ。

かぶきやくしや
うわて
かみて
じょうず

② 色紙を折って、千羽づるを作る。
有名人のサインを、色紙にもらう。

しきし
いろがみ

③ 風車に息をふきかけて回し、遊ぶ。
風の力を利用して風車を回し、発電する。

ふうしや
かぎぐるま

二 特別な読み方をする漢字について考えましょう。

次の漢字の読み方を（ ）の中に書きましょう。

「明日」は「みょうにち」、「昨日」は「さくじつ」、「今日」は「こんにち」とも言います。
「一日」は「いちにち」とも読みますが、意味が異なります。

- | | | | | | |
|---|-----|--------|---|-----|--------|
| ① | 七夕 | (たなばた) | ⑪ | 河原 | (かわら) |
| ② | 一日 | (ついたち) | ⑫ | 二十日 | (はつか) |
| ③ | 博士 | (はかせ) | ⑬ | 姉さん | (ねえさん) |
| ④ | 八百屋 | (やおや) | ⑭ | 今日 | (きょう) |
| ⑤ | 大人 | (おとな) | ⑮ | 真っ青 | (まっさお) |
| ⑥ | 明日 | (あす) | ⑯ | 昨日 | (きのう) |
| ⑦ | 果物 | (くだもの) | ⑰ | 一人 | (ひとり) |
| ⑧ | 今朝 | (けさ) | ⑱ | 景色 | (けしき) |
| ⑨ | 手伝う | (てつだう) | ⑲ | 清水 | (しみず) |
| ⑩ | 真っ赤 | (まっか) | ⑳ | 部屋 | (へや) |

「じっくり しっかり くり返し」の十二ページを参考にしてください。

小学生五・六年生「漢字」ワークシート⑤

名前

漢字を読んだり書いたりすることができるようになってください。

一 同じ訓をもつ漢字について考えましょう。
 次の上の言葉と下の言葉を——でつなぎ、意味が正しい文になるようにしましう。

<p>④</p> <p>キノコを 汚れを</p> <p>・ ・</p> <p>・取る。 ・採る。</p>	<p>③</p> <p>問題解決に 貿易会社に 主役を</p> <p>・ ・ ・</p> <p>・務める。 ・努める。 ・勤める。</p>	<p>②</p> <p>タイミングを 熱を 分量を</p> <p>・ ・ ・</p> <p>・量る。 ・測る。 ・計る。</p>	<p>①</p> <p>夜が 窓を バケツの水を</p> <p>・ ・ ・</p> <p>・空ける。 ・明ける。 ・開ける。</p>
--	---	--	--

二 次の文の文が正しくなるように、
 あてはまる正しい漢字を左の□に
 中から選んで書き入れましょう。

<p>④</p> <p>のびる</p> <p>・背が ・日程が</p> <p>延びる 伸びる</p> <p>□ □</p> <p>○ ○</p>	<p>③</p> <p>なおす</p> <p>・ねぐせを ・傷を</p> <p>直す 直す</p> <p>□ □</p> <p>○ ○</p>	<p>②</p> <p>やぶれる</p> <p>・決勝戦で ・くつつ下が</p> <p>破れる 敗れる</p> <p>□ □</p> <p>○ ○</p>	<p>①</p> <p>おさめる</p> <p>・この国を ・学業を ・税金を</p> <p>納める 治める 修める</p> <p>□ □ □</p> <p>○ ○ ○</p>
--	---	---	--

小学校五・六年生「漢字」ワークシート⑤ 答えと解説

漢字を読んだり書いたりすることができるようになっていきましょう。

一 同じ訓をもつ漢字について考えましょう。
 次の上の言葉と下の言葉を—— でつなぎ、意味が正しい文になるようにしましう。

<p>④</p> <p>キノコを 汚れを</p>	<p>③</p> <p>問題解決に 貿易会社に 主役を</p>	<p>②</p> <p>タイミングを 熱を 分量を</p>	<p>①</p> <p>夜が 窓を バケツの水を</p>

同じ読み方をする漢字や熟語はたくさんあります。文章を書いているとき、分からなくなったら、辞書を引いて確認しましょう。



「じっくり しっかり くり返し」の十二ページを参考にしてください。

二次の文の文が正しくなるように、にあてはまる正しい漢字を左の中から選んで書き入れましょう。

<p>④</p> <p>のびる</p> <p>背が 日程が</p>	<p>③</p> <p>なおす</p> <p>ねぐせを 傷を</p>	<p>②</p> <p>やぶれる</p> <p>決勝戦で くつつが</p>	<p>①</p> <p>おさめる</p> <p>この国を 学業を 税金を</p>

「政治・修学・納税」などの熟語から考えるとわかりやすいですね。